

# 知事記者会見の概要

日 時：令和2年4月11日(土) 15:45～15:58

場 所：記者会見室

出席者：知事、健康福祉部長、医療統括監、秘書課長、広報広聴推進課長

出席記者：18名、テレビカメラ7台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事等が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 県内における新型コロナウイルス感染症の確認事例について（第33例）

### フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：河北・共同・TUY>

## ☆報告事項

### 知事

山形県内で33例目となる感染者が確認されましたのでお知らせをいたします。

感染者33ですが、50代の男性で、米沢市にお住まいの会社員の方です。4月4日からお休みされております。4月5日から全身倦怠感と関節痛がありました。昨日10日に38度台の発熱がありました。発症前1か月前の海外、県外への行動歴はありません。濃厚接触者につきましては、現在調査中です。現在は、感染症指定医療機関に入院されております。この方は、感染者15のご家族であります、感染者24の職場の同僚であります。3次感染ということになります。

連日、感染者が確認されております。県民の皆様には、大変不安をお持ちかと思っておりますけれども、冷静に落ち着いて行動していただきたいというふうに思います。そして、本当に基本でありますけれども、丁寧な手洗いと咳エチケット、これをしっかりと励行していただきますようお願いをいたします。同時にですね、3つの「密」、密閉、密集、密接、この3つの密を避けてくださるようお願いをいたします。

この大変な難局を乗り切るためには、県民の皆さんお一人お一人のご協力が不可欠でありますので、繰り返しになりますけれども、次の4点について、ご協力を今日もお願いいたします。

1点目は、県外との往来を控えていただきたいということでありまして。出張や研修なども、当面の間、見合わせてくださるようお願いいたします。

2点目は、法要などの様々な行事について、県外からの参加を見合わせていただきたいと思っております。

それから3点目は、不要不急の外出を控えてくださるようお願いいたします。皆さんご自身と周りの大切な方々との健康、命を守ることが大事でありますので、くれぐれも慎重な行動をお願いいたします。

4点目は、県外にいるお子さんやご家族などに、当分の間、来県を控えてくださるようご家族の皆さんからお伝えいただきたいと思っております。また、すでに県外から来県された方には、2週間程度、自宅待機や在宅勤務といった工夫をしていただいて、健康観察をしていただければと思います。

それからですね、昨日も申し上げました。くれぐれも感染された方々やご家族、医療従事者といった方々に差別、偏見、いじめということを断じて行わないようお願いしたいと思っております。

またですね、学校の休みが長く続いております。そういう中で、生徒さんはじめ若い方々が、若者が県外と往来するというようなことは厳に控えていただきたいと思っております。そして、県内で有意義な時間を過ごしていただきたいと思っております。

さらに、昨日までお話しした通り、新型コロナウイルス感染症についてのお知らせとお願いを記載したリーフレットをですね、市町村の窓口や空港で配布をしておりますけれど

も、山形駅におきましても、試行的に、トライアルですけれども、リーフレットを配布して、注意喚起を行ったところであります。

加えまして、布マスクの製作について昨日お話しをさせていただきましたけれども、品薄ですね、一般的に手に入らない、そういうマスクが手に入らない状況でありますので、県のホームページを開いていただきますと、新型コロナウイルス感染症のポータル画面に、簡単に作れる布・ガーゼマスクやキッチンペーパーで作るマスクの作り方を掲載しました。ぜひ、参考にしていただきまして、マスクの一般の流通が回復するまでの間、皆様に工夫をして対応していただければ大変ありがたいというふうに思っております。

ここに、きてけろくんがマスクをしておりますけれども（補足：マスクの作り方のフリップを紹介）、本当に山形県民みんなでいろいろな知恵を出し合ってですね、工夫して力を結集してこの難局を乗り越えていきたいというふうに思っておりますので、県民の皆様一緒に頑張っていきましょう。よろしく願いいたします。私からは以上であります。

#### ☆フリー質問

記者

ただ今もマスクの話が出ましたけれども、午前中の会議でも、昨日もおっしゃっていましたが、「愛のマスク運動について」という紙が出ましたけれども、この名称については「愛のマスク運動」ということで仮称とかけなくてもよろしいんですよね。

知事

そうですね、庁内でそういう名称で呼んでおりますので、それでよろしいのではないかと思います。

記者

作る方を支援していくということですが、県としては具体的に何を支援することになりますか。

知事

そうですね、防災くらし安心部のほうから、さまざまな団体に呼びかけましたところ、ぜひ協力したいというようにお話をいただいた団体もあると聞いておりますので、そういった方々をお願いをして、材料費みたいなどころですね、支援をしていければというふうに思っております。また、作っていただいて、それを集めさせていただいて、配ると言いますか、一緒になって配るということになるかもしれませんが、そこも連携して、防災くらし安心部が作るお願いをし、配る時には子育て若者応援部といったところと連携しながらですね、そのようなことをしていければと思っております。

記者

予算の額としては、想定されているものはありますか。

知事

予算はちょっとまだ検討つかない状況であります。ただ、材料費をお聞きして、その分位はですね、お出しできればと思っております。ただ、報道で見えますと、新しい材料を使うという方々もいらっしゃいますし、お持ちの何か浴衣地でありましたり、何か手ぬぐいでありましたり、そういったものを活用されるということもあるようですので、それはお任せをして、購入されるような材料については、ちょっと請求していただいて、支援と言いますか、その位はお支払いをするべきだなと思っております。

記者

この運動を通じて、どれくらいのマスクをという、見込みというか目標というかございましょうか。

知事

目標はまだ、どの位の方がお手伝いをしていただけるのか、ちょっとまだその人数、量的なことはまだなのでございますけれども、やはり小さいお子さんたち、おられますよね。保育園とか幼稚園、こども園といったところの学童保育とかですね、そういったところの子どもさんたちは、文科省から、小・中・高・特別支援学校という、学校には来るのですけれども、そっちのほうでは来ないところと言いますか、そういったところにですね、順次作っていただいたものから、お届けできればというふうに思っております。もちろん、それで全てを、確か2万6千くらいあったかと思われまので、それをすべてそれで賄うというようなことではなく、県としてもできる限り対応しながらですね、一方で県民の総活躍というようなこともございますので、ボランティアの皆さんの力もお借りしながら、やっていきたいと思っております。

記者

福祉施設や学校などへの布マスク配布というのが別にありましたけれども、それとは別の話と考えていいのですよね、今回のマスクは。

知事

そうですね。

記者

この26万枚の中に取り込むということではなくて。

知事

違いますね。学校はもう本当に確定と言いますか、文科省から来るということを聞いております。それを信用したいと思えますし、あと介護施設といったところには、県がきちんとやるというような方針を立てております。その表で見ると、保育園とか幼稚園とか書いてある、その部分ですよ。たぶん、2万6千枚位になっていませんか。学童保育と合わせると、その位の数字があったかと思うのですが、それ全てということではなく、お力をお借りしながら、県もそのところに対して、きちんと配布できるように取り組んでいくということでもあります。

記者

この布製マスクの配布では、今おっしゃった学校に向けての約11万枚がですね、文科省から配られる場合は除かれるというようなお話があったのですが、そうすると総枚数も15万枚に減るということですかね。

知事

そうですね。

記者

それとも、26万枚のまま、浮いた11万枚をよそに回そうというようなことになるのではないのですか。

知事

26万枚というのは、すぐには県内の製造のキャパがありますので、それ、すぐにはできませんので、たとえば4月の中旬から学校再開というような当初の予定があったものですから、「じゃあ、そこからか」と思っておりましたが、その学業がですね、全校延びるというようなことも聞いてございますので、「では、文科省から来るのでそれは間に合うね、時間的に」ということになって、施設のほうから、というふうに考えております。

記者

施設のほうにも4月中には配れるかなと感じになりますでしょうか、全部ではなくても。

知事

全部ではなくても、はい。全部ではなくても配れるところは配ります。4月中から配り始めることができると聞いているところです。

記者

わかりました。ありがとうございます。